

“五線の会”展

門坂 流	KADOSAKA:Ryu Engravings
柄澤 齊	KARASAWA:Hitoshi Warks in sumi & Wood Engravings
多賀 新	TAGA:Shin Drawings & Warks in Etching
建石修志	TATEISHI:Shuji Drawing & Warks in Mixed Media
坂東壯一	BANDO:Soichi Warks in Etching



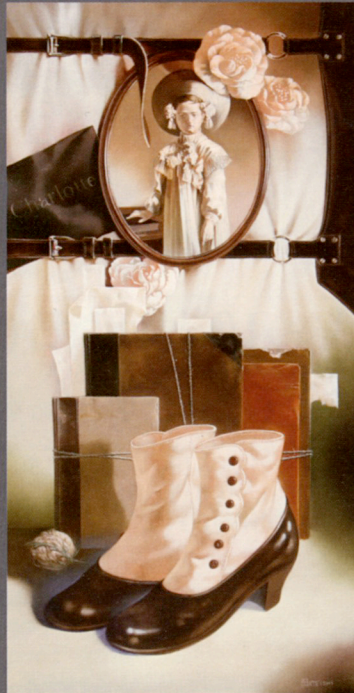
門坂 流 〈満開の桜〉



柄澤 齊 〈サロメ〉



多賀 新 〈バイオリニスト〉



建石修志 〈Charlotte の日記〉



坂東壯一 〈四季・春〉

2010

9月11日(土) - 10月11日(月)

喜多方市美術館

喜多方市字押切 2-2 〒966-0094
phone.0241-23-0404 facsimile 0241-23-0406
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/>

この展覧会では5人の作家、門坂流（かどさかりゅう）、柄澤齊（からさわひとし）、多賀新（たがしん）、建石修志（たていししゅうじ）、坂東壯一（ばんどうそういち）の作品を紹介します。

5人の作家の活動は国内外で高く評価されていて、作品はいずれも洗練された精緻な線描や円熟したやわらかな表現技法によって、ある作品は幻想的な、ある作品は妖艶な表情をみせています。

門坂流の作品は銅版画です。銅版に線を彫って表現するエングレーヴィングという技法を使い、硬い線でありながら水墨画のようなやわらかな情景を表現しています。

柄澤齊の作品は主に和紙を使い、木の横断面を彫る木口木版画の技法や、墨、アクリル絵の具などを駆使して、深みのある壮大なイメージをつくりあげています。

多賀新の作品はケント紙にエンピツでのドローイングや、エッチング（銅版画）で表現していて、特に銅版画ならではの精緻なエロチシズムに特徴があります。

建石修志の作品はエンピツや油彩とテンペラの混合技法によるもので、極めて繊細でなめらかな描写に特徴があり、幻想的で静謐（せいひつ）な世界を表現しています。

坂東壯一の作品は腐蝕銅版画（エッチング、アクアチント）による作品です。銅版画の特徴を生かした、モノトーンの美しいグラデーションで夢幻の世界を描き出しています。

この展覧会のタイトルにある「五線」は、楽譜に用いる5本の線を意味しています。今、その活動が注目されている5人の作品を一堂に展示して紹介することで、それぞれがさらに際立ち、作品が奏でる幻想的で魅惑的な旋律を見る人に感じてほしいという願いが込められています。

“五線の会”展

2010 9月11日(土) - 10月11日(月)

■休館日	毎週水曜日
■開館時間	午前10時～午後6時（最終入館は午後5時30分まで）
■観覧料	一般 300円 (250円)
	大・高校生 200円 (150円)
	小・中学生 100円 (80円)
	※ () は20名以上の団体割引料金

■お問い合わせ

喜多方市美術館

喜多方市字押切 2-2 〒966-0094
phone.0241-23-0404 facsimile 0241-23-0406
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/>



◇ 駐車場 喜多方プラザ文化センターの駐車場をご利用ください

◇ 次回の展覧会のお知らせ

会津 漆の芸術祭

漆・そのあたらしい表現を巡って

'10 10月23日(土) - 11月23日(火)

休館日：水曜日

開館時間：

10：00～18：00（最終入館は17：30）

観覧料：

一般 300円 大・高校生 200円 小・中学生 100円

出品作家：青木千絵、青木洋介、吾子可苗、伊能一三、岩田俊彦、立岩朝子、早崎小夜子